

事業所名

きょうわウィズ（児童発達支援・放課後等デイサービ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		法人：「三方よし」を運営判断の基準に、「利用者様の幸せ」「職員の幸せ」「社会の幸せ」の実現を目指します。 事業所：①安心・安全な施設 ②楽しく輝ける第二・第三の居場所としての施設 ③子どもたちの最善の利益を追求します。		
支援方針		子どもたちの「未来を生きる力」「社会で生きていく力」を育む支援を心がけています。		
営業時間		(平日) 12:00~18:00 (土曜日、祝日及び長期休暇) 10:00~16:00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	○手洗い、消毒、衣服の着脱、排泄、食具の使い方を自立できるよう支援する。 ○季節や気温に応じた衣服の調整を自分で考えられるよう支援する。○水分補給や体調の変化を意識する習慣を身につけるよう支援する。 ○適度な休息をとることの重要性を理解し、無理なく活動できるよう支援する。○早食い防止やよく噛むことを促すための声かけを行い、食事環境を整備する。		
	運動・感覚	○粗大運動や微細運動を通して基本的な動作の向上を目指す。 ○体操・ボール遊び・ミニコーンなどを活用し、楽しみながら運動能力を育む。 ○サーキット遊びや体幹トレーニングを取り入れ、ボディイメージの向上を促す。 ○正しい姿勢で学習に取り組めるように支援する。		
	認知・行動	○プリント学習・ビジョントレーニング・構成遊びを活用し、認知能力を高める。 ○一日のスケジュールを可視化し、計画的に行動できるよう支援する。 ○集団活動と個別活動の時間をバランスよく設け、集中力を高める。 ○計画的に行動する力を養うために、簡単なスケジュール管理の練習を行う。		
	言語 コミュニケーション	○気持ちを表現することに不安を感じないよう、職員が温かくサポートし、安心感をもてる雰囲気を作る。 ○職員とのやりとりを通じて、嬉しかったことや嫌だったことなどを話し、感情を言葉で表現する練習を行う。 ○「ありがとう」「ごめんなさい」「貸してください」などの基本的な言葉を自然に使えるよう支援する。		
	人間関係 社会性	○集団での活動を通して、順番を守る・譲り合う・協力するなどの基本的なマナーを学ぶ。 ○失敗したときの気持ちの整理を支援し、気持ちの切り替えを促す。 ○自己決定の機会を増やし、活動の選択肢を提示することで主体性を育む。 ○体験学習や買い物体験などの機会を設け、社会経験を積む。		
家族支援		○WEBシステムを活用し、日々の活動の内容や様子を写真付きで保護者に共有。 ○事業所で気になることがあれば随時保護者に報告し、情報共有を行う。 ○必要に応じて面談の場を設け、ご家族の不安や困りごとへの相談援助を行う。	移行支援	○相談支援事業所や他の通所支援事業所と連携を深め、支援内容の一貫性を保つよう努める。 ○担当者会議やケース会議を実施し、情報の収集や役割分担について協議を行う。
地域支援・地域連携		○地域の公共施設を利用し、地域資源を活用する。 ○地域生活に関する医療・福祉・教育等の関係機関、障がい福祉福祉サービス事業所との連携を行う。	職員の質の向上	○事業所内での研修会・勉強会の実施、外部講師を招いての研修開催。 ○障がい福祉向けのオンライン動画研修サービスを実施する。 ○障がい理解に繋がる資格取得を支援（強度行動障がい者養成研修等）
主な行事等		○外出活動（地域イベント、行楽地、公共施設、商業施設等） ○調理活動（カレーライス、たこ焼き、焼きそば、オムライスなど） ○イベント（初詣、花見、BBQ、ハロウィン、クリスマス会、誕生日会等）		